



前回の特集「地域の教育力」に対して、市民47人から89件の意見をいただきました。代表的なものを紹介します。

### (1) 子どもを健やかに育むためには、地域でどんなことに力を入ると良いと思いますか？

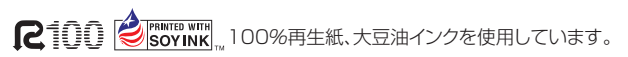
- まず言葉の掛け合い。核家族の現代、世代間の交流の機会をつくるよう協力したい。育成会・子ども会活動で、子どもたちの話を聞いたり、地域の話をしてあげたりというつながりのある交流が大切だと思う。(宝木本町 60代)
- 絶対に外遊びが必要。毎週土曜日に、昔遊びや鬼ごっこ、ドッジボールなど小学校低学年から高学年まで遊べるものを、地域の自主参加ボランティアで行う。(下栗町 30代)
- 公園や校庭で子どもたちが仲良く遊べる雰囲気や地域の人たちが作り上げ、子ども同士が交流できる場を設ける。(針ヶ谷1丁目 40代)
- 大人同士が心あるやりとりをしている姿を見ていれば、子どもも人を信頼することや助けること、尊敬、感謝など何か大切なことを感じるのではないかと。(30代)
- 地域住民と子どもたちが一緒に相談して、スポーツやハイキングなどの催しを決めて実施するなど、子どもと温かく接する場を設ける。(鶴田町 70代)
- 親の意識改革が前提だと思う。親に我が子を地域の皆さんにもしつけて欲しいという気構えがなければ、好意をもって注意してもトラブルになってしまう。(双葉1丁目 70代)

### (2) 地域ができる学校への支援は、どんなことでしょうか？

- 地域の人と親と子どもがかかわりを持てば、学校が抱える問題にも関心を持ち、皆が協力し合うと思う。以前住んでいた地域では、地区の人が学校へ出向き、子どもと一緒にお手玉や竹馬を作って遊び、子どもたちは大喜びだった。(江曾島1丁目 30代)
- 何かあると先生ばかりが責められている。まず親や地域が精神的にサポートするべき。手伝えることがあれば先生に尋ねて手伝うことも必要。(清住3丁目 70代)
- 地域や家庭が学校に要望を出すばかりでなく、学校から地域に協力を要請しやすい関係ができれば、それが学校への支援になるのでは。PTA活動に地域の代表者が加わり、地域で協力できることは主導的にかかわっても良いと思う。(雀の宮1丁目 30代)

広報うつのみや特集号は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年4回発行します。また、毎月1日発行の通常号の次回(9月号)は、8月31日配布です。

広報うつのみや 特集号はホームページでも見られます。  
<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>



## 前回の特集「地域の教育力」の概要



**今、地域の教育力が低下している**  
近年、保護者の子どもに対する過干渉のほか、無責任な放任や児童虐待が増え、さらには青少年による凶悪犯罪が多発するなど、さまざまな問題が深刻化している。  
人々の価値観が多様化し、地域とのつながりを求めない家庭が増えた結果、地域住民の連帯感が薄れ、「社会全体で子どもをはぐくむ」機能が失われ、「地域の教育力」が低下していると言われていた。

**まずは、自分に何ができるかを考えて、「できることから」「無理せず」「楽しみながら」**  
地域の教育活動の先駆者として、子ども会・育成会、青少年指導員などが、子どもの健全育成のためにさまざまな活動を行ってきた。また、市では、子どもを育むことについて話し合う「地域教育力向上フォーラム」や地域における子どもの居場所づくりを促進する「地域子ども教室」を実施するほか、自分の特技や経験を生かして授業などに協力する「街の先生」や、地域が学校を応援しながら家庭と地域の教育力向上に取り組む「魅力ある学校づくり地域協議会」を組織するなど、地域の教育力向上のためにさまざまな取り組みを行っている。  
子どもを健全に育むためには、大人も含めて、周囲の人と人とのふれあいを復活させることが大切であり、子どもの居場所づくりや体験活動機会の提供など、地域や学校などの身近な場所で、一人でも多くの市民の皆さんが地域の教育力の担い手になっていただけることを期待している。



郵便はがき



差出有効期間  
平成21年8月  
11日まで  
【切手不要】

(受取人)  
宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)  
宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。